

令和元年度  
(2019年度)

## 観光にぎわい部の取り組み実績

<部の構成>

観光交流課、商工振興課、農業振興課、文化生涯学習課、文化財課、スポーツ振興課

### 1. 重点施策・事業

#### (1) 観光施策の戦略的推進

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>方向性</p>          | <p>淀川上流域も含めた舟運など、観光資源を生かしながら、市民が愛着を持ち、多くの人が訪れたいと思える魅力的なまちづくりを進めるため、平成 29 年度に策定した「観光施策に関する考え方」に基づき、公民連携で役割分担をしながら、マーケティング手法を取り入れた観光施策を戦略的に進め、東京オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博等を控え、インバウンドも見据えた交流人口の拡大を図ります。</p>   |
| <p>取り組み</p>         | <p>民間事業者など幅広い関係機関との意見交換の場において、市で収集した観光に関する基本データを共有し、公民連携による戦略的な観光地域づくりの方向性を検討します。また、魅力あるコンテンツの創出及び情報発信力の強化に向け、マーケティングの観点から消費動向や動態データなどを継続的に収集・分析し、魅力ある観光資源の創出や公民連携による観光冊子を作成するとともに、インバウンドを含む交流人口の増加につながる効果的な新たな情報発信の手法について検討を進めます。</p> <p>≪目標値≫定期利用者数を除いた市内主要駅の乗降客数の増加：年間約 8 千人増<br/>平成 31 年度当初予算：3,400 千円</p>  |
| <p>実績</p>           | <p>観光地域づくりの体制確立を図るため、交通事業者や金融機関等の民間の関係機関に対して個別にヒアリングや、課題整理などを行いました。</p> <p>また、インバウンドを含む体験コンテンツの創出に向け、大阪観光局と連携し、対象となる観光資源を整理するなど、具体的な検討を進めました。</p> <p>観光冊子については、読者アンケートや掲載店等から得られた情報をもとに紙面の改善を図りながら、年 4 回の発行を行いました。また、枚方市駅周辺のさらなる観光促進を図るため、同冊子を活用したクリスマス関連イベントをつなぐスタンプラリーを実施しました。その他、本市の歴史やレジャースポット、自然などの情報を「観光」をキーワードに集約し、その内容を市ホームページに掲載しました。</p> <p>≪実績値≫<br/>定期利用者数を除いた市内主要駅（京阪：枚方市駅、枚方公園駅、樟葉駅、JR：長尾駅）の乗降客数の増加：年間 2,156 人減<br/>(平成 29 年度と比較した平成 30 年度の実績値)</p> <p>令和元年度決算：3,054 千円</p> |
| <p>取り組みに対する達成状況</p> | <p>【 ○ 】</p>  |

| <b>(2) 新たな事業者等への支援</b>    |  |
|---------------------------|--|
| <b>方向性</b>                | 主体的に活性化に取り組む商店街等を支援する、「商店街等活性化促進事業」を、引き続き実施するとともに、市内で創業を目指す方の裾野を広げるため、個人で販売を行っている方が、新たに起業できるよう、創業支援の充実を図ります。また、市内商業の振興に向けて、空き店舗の活用につながるセミナー事業を充実します。   |
| <b>取り組み</b>               | 「商店街等活性化促進事業」における“空き店舗活用事業”のさらなる活用促進を図るため、事業のPR等を行います。また、地域活性化支援センターにおいて取り組んでいる、創業・経営に関する相談や、商店街活性化セミナー等を精査し、効果的な支援につながるよう、より一層、ニーズの把握に努め、各種事業を実施します。併せて、創業を志す時期から創業後のフォローまで一貫した支援に取り組むとともに、市内商店街等で起業を志すきっかけとなる事業を、新たな視点で行います。起業家への支援活動における、他市の先進事例等を調査し、本施策の拡充、事業間連携の可能性等について検討を行います。 |
|                           | 平成31年度当初予算：44,500千円  |
| <b>実績</b>                 | 空き店舗活用事業の活用促進を図るため、ホームページや広報ひらかたを用い、事業のPRを行ったほか、市内の各商店街へ案内文を送付しました。また、地域活性化支援センターにおいて実施する事業のニーズ把握のため、商業団体等へヒアリングを行いました。このヒアリングの結果を受け、商店街活性化に関して実績のあるアドバイザーを配置するなど、効果的な支援に向け取り組みました。新たな創業支援への取り組みとして、他市の先進事例等について調査を行い、次年度以降の試行実施に向けた準備を行いました。  |
|                           | 令和元年度決算：43,099千円   |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> 【 ○ 】 |  |

| <b>(3) さらなる賑わいの創出に向けた地域資源の情報発信</b> |  |
|------------------------------------|--|
| <b>方向性</b>                         | 「七夕伝説」をはじめ、「枚方宿」「舟運」といった本市の地域資源の魅力の紹介や各種イベント開催などの情報発信の取り組みを進めることで、市内外からの交流促進、賑わい創出につなげます。特に「七夕伝説」についてはより一層認知を広めるため、重点的にPRに取り組めます。  |
| <b>取り組み</b>                        | 「七夕伝説」ゆかりのまちを市内外にPRするため、「七夕」を発信するイベント開催などの取り組みを公民連携で進めながら、本市における「七夕」に関する伝承など様々な情報を通年発信していきます。また、枚方宿地区まちづくり協議会の活動を活かした街並みの形成を促進する取り組みや、賑わいづくりに向けた活動を支援するとともに、「枚方宿」の魅力を広く紹介する情報発信を進めます。「こうした地域資源の発信力を高めることで、まちの交流促進と賑わいの創出につなげていきます。 |
|                                    | 平成31年度当初予算：2,050千円   |

|              |   |
|--------------|---|
| 実績           | <p>「七夕伝説」ゆかりのまちを PR するため、夏の七夕イベントとして「七夕ジャンボ笹飾り」を実施し、市内の保育所や小学校の児童・生徒をはじめ市民からの願い短冊で飾られた8メートル級のジャンボ笹と市民団体との協働で制作した竹灯りを設置しました。あわせて、コンサートや「七夕物語」の映像上映を行いました。産学公連携による枚方・交野天の川ツーリズム推進協議会では、「七夕」ゆかりの解説やスポットなどをデザインしたクリアファイルを作成し、様々なイベントで広く配布するなど PR に取り組みました。</p> <p>枚方宿地区まちづくり協議会が新たな取り組みとして実施した枚方宿くらわんか五六市（夕市）「五六のあかり」の竹灯籠（約 200 個）の制作に際し、むらの高等支援学校・北大阪高等職業技術専門校と連携して支援を行い、約 5,000 人の賑わい創出につなげました。</p> |
|              | 令和元年度決算：800 千円  |
| 取り組みに対する達成状況 |   |
| 【 ○ 】        |   |

| （４）農業の魅力や楽しさを発信             |  |
|-----------------------------|--|
| 方向性                         | 農業に関心のあるシルバー世代（アクティブシニア）を主たる対象とした体験型農園での有機野菜づくりを通じて、農業の魅力や楽しさを発信し、農業の新たな担い手の育成につなげます。  |
| 取り組み                        | パイロット事業「ちょっと本気の野菜づくり講座」を昨年度より期間を延長して実施し、より一層の参加を募るため、後期（半期分）からの追加募集も行います。また、2カ年の実績を検証した上で令和2年度（2020年度）からの本格実施を目指し、併せて終了生がグループで農地を借りて、営農できる仕組みも検討し、遊休農地の利活用に繋がります。  |
| 実績                          | 前年度に引き続き、パイロット事業として「ちょっと本気の野菜づくり講座」を開催し、一定の農業技術を有する新たな担い手を育成しました。後期の追加募集については、短期間では技術習得が困難であるため行わず、年間を通じて実施しました。また、パイロット事業の実績を検証した結果、農家としての自立が難しく課題が残ることから、現状では本格実施には至らないと判断し、引き続き、本格実施の是非を検討するとともに、グループ就農の仕組みについて検討を行います。 |
| 令和元年度決算：350 千円（※補正予算等の対応あり） |  |
| 取り組みに対する達成状況                |  |
| 【 △ 】                       |  |

| （５）特産物の創出と6次産業化 |  |
|-----------------|--|
| 方向性             | さらなる都市農業の活性化を図るため、特産物（農産物）の創出と、商工業者との連携による6次産業化を進めます。  |
| 取り組み            | 農業特産物の取り組みと販路の拡大<br>枚方の土壌に適した特産物の品目・品種を大阪エコ農産物の基準で選定し、市内生産者団体の協力を得ながら、試験栽培に取り組み、併せて6次産業も視野に商工業者等とも連携した販路の拡大にも取り組みます。<br>6次産業化の取り組み |

|                     |   |
|---------------------|---|
|                     | <p>農業者と商工業者とのマッチングの機会を設け、地産地消を推進します。</p> <p>なお、昨年度に6次産業化を進めたモデル事例の枚方産さつまいも鯛焼きについては、サツマイモを倍増するとともに、収穫体験の機会を設けるなど商品化のPR強化に繋がります。</p>  |
| <b>実績</b>           | <p>農業特産物の創出に向けた第一段の取り組みとして、市内生産者団体9団体32農家の協力を得て、令和元年9月から令和2年5月までの間、タマネギの試験栽培に取り組み、3月上旬より収穫を開始しました。</p> <p>また、6次産業化の試行事業として、前年度の約5倍となる300kgのエコ農産物のサツマイモを供給し、枚方産さつまいも鯛焼き3,000袋を販売しました。さらに、枚方産タマネギを使用した枚方ビールカレーの開発にも取り組んでおり、令和2年7月の販売に向けて準備を進めました。</p> |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |   |
|                     | 【 ○ 】   |

| <b>(6) (仮称) 枚方市総合文化芸術センターの整備</b> |  |
|----------------------------------|--|
| <b>方向性</b>                       | <p>多彩な文化芸術の鑑賞をはじめ、市民の創作活動の発表機会を促進し、集客と販売を創出する文化芸術の拠点施設となる枚方市総合文化芸術センターの整備を令和3年度(2021年度)の開館を目指して着実に進めます。</p> <p>また、枚方市総合文化芸術センターの利用規則を定め、運営事業者の選定に着手します。</p>  |
| <b>取り組み</b>                      | <p>昨年10月に着工した枚方市総合文化芸術センターの整備を着実に進めていくとともに、メセナひらかた会館を枚方市総合文化芸術センターの別館として一体的な運営を行っていくための改修設計を行います。</p> <p>また、枚方市総合文化芸術センターの休館日や開館時間、使用料などを条例で定め、同センターを運営する事業者の業務内容を決定し、公募による選定を開始します。</p> <p>平成31年度当初予算：2,472,962千円</p> |
| <b>実績</b>                        | <p>枚方市総合文化芸術センター本館は、令和3年3月の完成を目指して工事を進めるとともに、センター別館となる現メセナひらかた会館の駐車場改修工事設計などを実施しました。</p> <p>また、休館日や使用料を含む枚方市総合文化芸術センター条例の改正案を12月定例会月議会に提出し、可決されたことに伴い、令和2年1月から、指定管理者の選定に向けて公募を開始しました。</p> <p>令和元年度決算：1,029,738千円</p>   |
| <b>取り組みに対する達成状況</b>              |  |
|                                  | 【 ○ 】  |

| <b>(7) 文化芸術の拠点形成に向けた取り組み</b> |   |
|------------------------------|---|
| <b>方向性</b>                   | <p>枚方市総合文化芸術センターの開館への機運を高めるため、開館プレ事業を展開し、文化芸術の拠点形成に向けた土壌づくりを行います。</p> <p>また、「枚方市文化芸術振興計画」に基づき、子どもや若い世代の文化芸術活動の充実を図り、本市における文化芸術の裾野を広げます。</p> |
| <b>取り組み</b>                  | <p>文化芸術の拠点形成に向けた機運を高めていくため、平田オリザ氏をはじめとする</p>  |

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     | <p>4人の文化芸術アドバイザーによるワークショップなどを実施するとともに、連携協定を締結した大阪フィルハーモニー交響楽団による芸術公演の鑑賞機会の提供や市内中学生を対象にオーケストラ鑑賞の機会の提供を行うなど、文化芸術事業の充実を図ります。</p> <p>また、本市ゆかりの若手芸術家による「枚方市アーティストバンク」を設置し、実力ある若手芸術家を発掘するとともに、小学校等へのアウトリーチや市主催支援事業「アート・スプラウト」に出演していただくことで、芸術家の支援と文化芸術に触れる機会の充実に努めます。</p> |
|                     | 平成31年度当初予算：21,003千円  |
| <b>実績</b>           | <p>文化芸術事業の充実を図るため、4人の文化芸術アドバイザーによるプレ事業や大阪フィルハーモニー交響楽団による中学生対象のオーケストラ鑑賞会を初めて実施しました。</p> <p>また、「枚方市アーティストバンク」を設置し、枚方ゆかりの実力ある若手芸術家に発表の機会をつくる「アート・スプラウト」を4回開催するとともに、小学校と福祉施設、病院の計20か所でアウトリーチ事業を実施しました。</p>   |
|                     | 令和元年度決算：1,5971千円   |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |  |
| 【 ○ 】               |  |

#### (8) 歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）

|             |   |
|-------------|---|
| <b>方向性</b>  | 市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後50年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。  |
| <b>取り組み</b> | <p>引き続き、再整備工事を行い、堂塔院内及び回廊西半分の土系舗装と基壇の張芝、また南門礎石レプリカの設置を行うとともに、築地塀の復元基本設計を行います。当初計画より整備の遅れが生じているため、これまでの整備工事の進捗を踏まえ、年度ごとの整備計画を見直し、完了に向けて取り組んでいきます。</p> <p>また、百済寺跡や楠葉台場跡等の史跡の活用については、保存とのバランスを考慮しながら関係部署と連携し、引き続き取り組んでいきます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備工事の進捗管理</li> <li>・築地塀の復元基本設計の進捗管理</li> </ul> |
|             | 平成31年度当初予算：122,849千円  |
| <b>実績</b>   | <p>堂塔院内及び回廊西半分の土系舗装と基壇の張芝、また南門礎石レプリカの設置を実施し、築地塀の復元基本設計を完了しました。</p> <p>事業完了に向け、令和5年度を完了年次とする整備計画のスケジュールの見直しを行いました。</p> <p>また史跡の活用については、百済寺跡では百済フェスティバル実行委員会に参加し、市民団体と共に史跡の周知を行い、楠葉台場跡では除草や植栽の剪定、竹の間伐など必要な管理を行いました。活用策については引き続き検討を進めます。</p>   |
|             | 令和元年度決算：102,099千円（特別史跡百済寺跡再整備事業）  |

|              |       |
|--------------|-------|
| 取り組みに対する達成状況 | 【 ○ 】 |
|--------------|-------|

| (9) スポーツ施策の推進 |  |
|---------------|--|
| 方向性           | 平成 29 年 3 月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツに関わる関係部署・団体等と連携・協力し、各種スポーツ活動の推進と施設の利用環境の整備に向けた取り組みを行います。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けての施策を進めます。   |
| 取り組み          | <p>「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、庁内各所管部署で取り組む施策と事業に関し、有識者、専門家・市民等で構成する枚方市スポーツ推進審議会からの点検・評価を受け、また助言を受けながら事業の見直しや進行管理を行います。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づくスポーツ事業の実施</li> <li>・効果的・効率的な事業の実施</li> <li>・PDCA サイクルによる事業の効果検証</li> </ul> <p>令和 9 年度（2027 年度）末までに、週 1 日以上スポーツに取り組む成人の割合 65.0%程度</p> <p>令和 9 年度（2027 年度）末までに、週 3 日以上スポーツに取り組む成人の割合 30.0%程度</p> <p>平成 31 年度当初予算：330 千円</p> |
| 実績            | <p>スポーツ推進計画の具体的施策に基づき各所管部署で実施した平成 30 年度の事業について、自ら実績の点検と評価を行い、その内容を整理した上で、10 月 28 日に開催した枚方市スポーツ推進審議会において点検・評価を行いました。なお、効果検証については、令和 4 年度に再度アンケート調査を行い、これまでの取組状況について総括する予定です。</p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業については、聖火リレーの準備などを進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1 年間延期となっています。</p> <p>令和元年度決算：234 千円</p>   |
| 取り組みに対する達成状況  |  |
| 【 ○ 】         |  |

| (10) プレミアム付商品券事業 |   |
|------------------|---|
| 方向性              | 市内商店等において使用できる低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券を発行し、消費税・地方消費税率の引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えします。  |
| 取り組み             | <p>国のプレミアム付商品券事業実施要領に基づき、6 月から 9 月にかけて商品券発行に係る各種の取り組みを進め、9 月 24 日から本庁舎及び支所等において「枚方市プレミアム付商品券」の販売を行います。（商品券は 10 月 1 日より使用開始）</p> <p>《目標値》 商品券取扱店舗：1,000 店 ※幅広く参加店舗を公募</p> <p>平成 31 年度当初予算：660,890 千円</p> |

|           |   |
|-----------|---|
| <b>実績</b> | <p>6月28日以降、低所得者分対象者 59,549 人に商品券購入引換券交付申請書を送付しました。7月1日から申請受付を開始し、審査のうえ9月19日以降、該当者 25,333 人に購入引換券を送付するとともに、子育て世帯主 9,882 人に購入引換券を送付しました。</p> <p>9月24日から市役所本館及び支所等において販売を開始したプレミアム付商品券は、購入引換券1枚につき最大5冊まで購入でき、1冊5,000円分(500円券10枚つづり)を4,000円で、134,641冊(売上金額538,564千円)販売しました。</p> <p>商品券取扱店舗については、7月1日から公募により登録申込を開始し、目標値を超える市内商店等1,111店の登録がありました。</p> <p>令和元年度決算：344,846千円</p> |
|           | <b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>  |

## 2. 行政改革・業務改善

### ◆新行政改革実施プランの改革課題

| 改革課題   | 取り組み内容・目標  |
|--|--|
| 2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施  | 生涯学習施設の駐車場については、支所、図書館と連携しながら受益者負担や駐車場管理の適正化の観点で踏まえ、引き続き、有料化に向けた検討を進めます。   |
| <b>実績</b>  | <p>対象施設附属駐車場について、有料化に向けた事業者サウンディングを実施しました。</p> <p>また、チーム会議、関係課長会議を開催し、施設ごとに駐車場の立地、形状、台数、利用状況や個別の事情等を踏まえ、有料化の可否や有料化の実現に向けた課題への対応策を検討しました。</p> |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ○ 】</span> |  |

| 改革課題   | 取り組み内容・目標  |
|--|--|
| 2. 来庁者・利用者駐車場の有料化の実施   | スポーツ施設については、令和元年度(2019年度)から指定管理者の業務に含めた総合スポーツセンター(第1・第2駐車場・春日テニスコート)、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンターの有料駐車場における適正利用を促進します。 |
| <b>実績</b>  | 平成31年4月1日から指定管理者が有料駐車場として運用を行っています。  |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ◎ 】</span> |  |

| 改革課題                 | 取り組み内容・目標   |
|----------------------|---|
| 11. 市立学校園の施設開放事業の見直し | 市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業について、令和2年(2020)4月からの事業統合に向け、施設使用の申請手続きを統一するなど合理化を図り、使用料金の徴収を実施できるよう取り組みます。  |
| <b>実績</b>            | 学校規模調整課所管の「市立小中学校及び幼稚園施設開放事業」とスポーツ振興課所管の「市立小学校体育施設開放事業」について、申請様式を統一し、利用者から受理した申請書等の提出窓口を学校規模調整課に統一しました。<br>また、引き続き市立学校園施設開放事業と市立小学校体育施設開放事業との事業統合に向けて、学校規模調整課と協議検討を行いました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b>  |   |
| 【 ○ 】                |   |

| 改革課題                | 取り組み内容・目標   |
|---------------------|---|
| 14. 外郭団体等の経営健全化の促進  | 特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、平成28年度に策定した5か年の経営計画における進捗管理を行います。また、市立枚方宿鍵屋資料館の指定管理期間が5か年の最終年度となることを踏まえ、本市の観光施策に関する考え方にに基づき、戦略的な観光地域づくりにおける今後の役割について同協会と協議します。 |
| <b>実績</b>           | 「観光施策に関する考え方」の内容を踏まえた事業の検討など、「事業費補助金」への切り替えに向け、協会と協議を行いました。   |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |   |
| 【 ○ 】               |   |

| 改革課題                | 取り組み内容・目標   |
|---------------------|---|
| 14. 外郭団体等の経営健全化の促進  | 平成31年2月に公益財団法人枚方市文化国際財団が策定した「解散に向けた年次計画」に基づき、令和3年(2021年)3月末に同財団は解散する予定です。<br>解散を見据え、同財団が担っている「文化芸術事業」と「国際交流事業」について、新たな推進体制について引き続き検討します。  |
| <b>実績</b>           | 財団が担っている「文化芸術事業」「国際交流事業」「くずはアートギャラリー事業」について、財団解散後の施策展開を検討するとともに、解散に向けたスケジュール等の調整を行いました。<br>「文化芸術事業」については、市と指定管理者の役割整理を行い、センター指定管理者の業務として仕様書に位置付けました。「国際交流事業」については、顕在化してきた在住外国人支援とあわせて、国際化施策のあり方について庁内委員会を立ち上げて検討しました。「くずはアートギャラリー事業」については、京阪ホールディングスとの協議を進め、令和3年3月末をもって当事業を終了することを決定しました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |   |
| 【 ○ 】               |   |

| 改革課題                | 取り組み内容・目標  |
|---------------------|--|
| 14. 外郭団体等の経営健全化の促進  | (公財)枚方体育協会については、平成29年度に本市が実施した「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果」を受け、枚方体育協会との協議を適宜行うとともに、「自立経営の実現」に向けた取り組みを促します。また、令和元年度(2019年度)中にこれまでの市民スポーツ振興事業補助金を再度精査し、補助の必要性や効果の高い対象経費の検討を進めます。 |
| <b>実績</b>           | 平成30年度から枚方体育協会及び行革推進課と協議し、これまで包括補助となっていた補助金を個別事業補助として整理を行いました。市民スポーツ振興事業補助金について、個別事業ごとに補助の必要性や対象経費等の精査を行い、一部の事業について補助金交付になじまないものとして対象外としました。                           |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |  |
| 【 ○ 】               |  |

| 改革課題                | 取り組み内容・目標  |
|---------------------|--|
| 38. 野外活動センターの最適化    | 野外活動センターの進入路について、土地所有者(畜産組合等)と維持管理協定について継続して協議を行います。<br>また「学校キャンプ支援事業」を継続実施し、センターを効率的かつ効果的に運営できるよう施設の最適化に向けた検討を進めます。 |
| <b>実績</b>           | 市内小中学校のニーズを把握し、20校に「学校キャンプ支援事業」を実施しました。  |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |  |
| 【 ○ 】               |  |

| 改革課題                      | 取り組み内容・目標   |
|---------------------------|---|
| 52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営 | 市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と、教育委員会が所管するスポーツ施設について、効果的・効率的な運営を図るため、料金体系の一元化等、引き続き関係部署と協議を進めます。 |
| <b>実績</b>                 | 土木部で王仁公園のあり方検討を進めている内容の情報共有を行いながら、引き続き調整を行いました。                                       |
| <b>取り組みに対する達成状況</b>       |   |
| 【 ○ 】                     |   |

◆業務改善のテーマ・目標

| テーマ              | 取り組み内容・目標  |
|------------------|--|
| 部内連携による事務執行体制の確立 | 部内各課の担当者レベルのワーキンググループを設置し、情報発信の充実や各課が取り組む事業を組み合わせた新たな魅力ある施策の創出等を図ります。          |
| <b>実績</b>        | ワーキンググループを計6回実施し、部内のイベント情報を集約・共有するとともに市HPやSNS等を活用した効果的な情報発信についての協議・研修等を行いました。そ |

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     | れらを通じ、市ホームページ上における観光情報の整理として、観光スポットの紹介及び集約ページの作成や、トップページからのアクセス改善などを連携して行い、観光施策の推進を図ることができました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> | 【 ○ 】  |

### 3. 予算編成・執行

- ◆包括外部監査等の指摘や、これまでの事業の実績等を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、国等の様々な補助金等の有効活用を行うなど、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>実績</b>           | 枚方市・寝屋川市・交野市の三市合同企業就職面接会について、その他既存事業との役割を整理し、当該事業の見直しを実施。当初予算額 25 万円を縮減することができました。また、公共財団法人地域社会振興財団の補助金を活用し、新たな取り組みとして実施された地域主催イベント「枚方宿くらわんか五六市（夕市）五六のあかり」を支援しました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> | 【 ○ 】  |

- ◆枚方市総合文化芸術センターの開館に向けて文化芸術ソフト事業を充実するため、今年度採択された「文化芸術創造拠点形成事業」（国庫補助金 624 万 8 千円）を活用し、取り組みを進めます。

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>実績</b>           | 「文化芸術創造拠点形成事業」を活用し、文化芸術アドバイザーによる総合文化芸術センター開館プレ事業や連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団による中学校オーケストラ鑑賞会、市立小学校に文化芸術を届けるアウトリーチ事業などを実施しました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> | 【 ○ 】  |

- ◆文化財保存事業に国庫補助金の活用を図ります。（4 件 2 億 8,021 万 6,000 円）

|                     |   |
|---------------------|---|
| <b>実績</b>           | 文化財保存事業で 4 件 2 億 8,021 万 6,000 円の活用を図りました。<br>内訳は、特別史跡百済寺跡再整備事業が 3,179 万 9,000 円、特別史跡百済寺跡出土遺物保存科学処理事業が 373 万 8,000 円、個人住宅調査事業が 131 万 2,000 円、史跡楠葉台場跡史跡等買上げ事業が 2 億 4,330 万 6,000 円、枚方田中邸のむく樹勢回復事業が 6 万 1,000 円（府費）となっています。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> | 【 ○ 】   |

- ◆市民スポーツ振興事業補助金について再度精査し、個別事業補助金として補助の必要性や効果の高い対象経費を検討、整理します。（664 万 1,000 円）

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>実績</b>           | 市民スポーツ振興補助金については、必要な事業のみが対象となるよう精査し、2 つの個別事業補助金として整理しました。（「市民スポーツ応援サポート事業補助金」「地域・競技スポーツコンサルティング事業補助金」、計 506 万 9,000 円） |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> | 【 ○ 】  |

## 4. 組織運営・人材育成

- ◆観光にぎわい部の業務は、市民や関係団体、事業者等との連携が重要であることから、研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力や専門性を高めていくとともに、部内のイベントをはじめスケジュールを共有し、業務の円滑な遂行に努めながら、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの実現に向けた取り組みを促進します。

|                     |   |
|---------------------|---|
| <b>実績</b>           | 観光に関する研究会や国際化に係る研修会に積極的に参加するなど、職員の専門性を高めるとともに、部内ワーキンググループにおいて、部内のイベント情報を集約・共有するなど、円滑な業務の遂行に努めました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |   |
| 【 ○ 】               |   |

- ◆観光にぎわい部各課の業務の関連性を踏まえ、事務内容や新たな取り組み課題に係る企画等について、組織内で知識・認識等の共有化を図り、計画的な事務執行に繋げ、自らが考え行動する自律型職員の育成を図ります。

|                     |   |
|---------------------|---|
| <b>実績</b>           | 平成30年度から始めた市と民間事業者との6次産業化に係る事業（さつまいもたい焼き）について、さらなる事業の拡大に向け、部内2課で取り組みを進め、効率的・効果的な事務執行に繋げることができました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |   |
| 【 ○ 】               |   |

## 5. 広報・情報発信

- ◆観光にぎわい部で実施する様々な取り組みについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどを活用し、よりわかりやすく、効果的な情報発信に努めるとともに、多言語化や各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知に努めます。

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>実績</b>           | 部内ワーキンググループにおいて、市HPやSNS等を活用した効果的な情報発信についての協議・研修等を行い、それぞれの職場で実践するなど、積極的な情報発信に繋げることができました。また、市と枚方文化観光協会、民間事業者で構成する「観光フリーペーパー制作実行委員会」を組織し、枚方の観光スポット等の情報を掲載した観光フリーペーパーを年4回発行するなど、枚方の魅力を市内外に発信しました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |  |
| 【 ○ 】               |  |

- ◆枚方市総合文化芸術センターの開館準備号を発行し、市内外に配布することで、枚方市に文化芸術創造拠点が生産することをアピールしていきます。

|                     |  |
|---------------------|--|
| <b>実績</b>           | 総合文化芸術センターの開館に向け機運を高めるため、施設情報や開館プレ事業などの情報を掲載した「ひらかたPIACERE（ピアチェーレ）！」を創刊、3号まで発行し、市内各施設や近隣文化ホール等に設置して広く情報発信を行いました。 |
| <b>取り組みに対する達成状況</b> |  |
| 【 ○ 】               |  |